

今まで以上の

# COVID-19 の世界的流行がパーキンソン病の患者さんに与える影響



コロナウイルスが発端となっている危機的状況は、わたくし共の日々の習慣に大きな影響を与えています。これは、わたくし共に例外なく変化を敷いていますが、パーキンソン病を持っている方々には、より多大な影響があります。



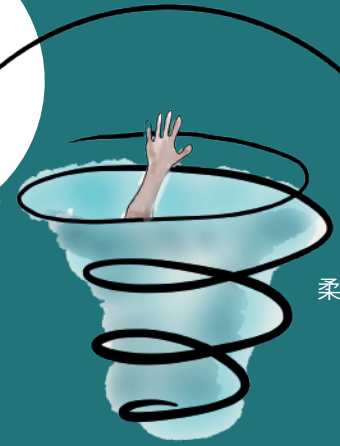
社会的距離



ストレス



身体的運動の減少



症状の悪化  
柔軟な認識力の低下

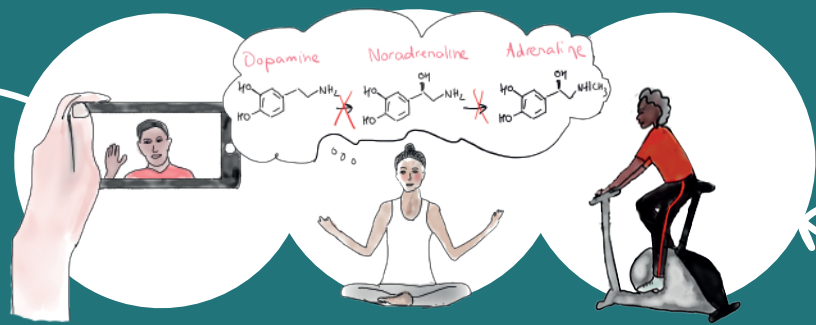


## 柔軟な認識力

柔軟な認識力があると、いろいろな問題により的確に対応できます。この認識力をつかさどるのは、ドーパミンと呼ばれる物質で、パーキンソン病の患者さんには低下がみられます。それにストレスが加わると、ドーパミンのレベルはより低下し混乱感がより増します。

この悪循環を断ち切るには、家の中でできる新しい習慣を作り出すことが大切です。ぜひ、友人(そして、お医者さん)にも手伝ってもらいましょう。

パーキンソン病の研究者は、患者の皆様が現在、このコロナウイルスの世界的流行にどのように対応しているかのデータを集めて、後日のために役立てたいと考えています。このデータには、携帯型のセンサーから集められるものや、体液に含まれるバイオマーカーを見つけることも含まれます。これらのデータを分析すれば、パーキンソン病の患者さんの生活の質を向上させるヒントが見つかるかもしれません。



オンラインでの会話

マインドフルネス

(インターネットも使った)  
家の中でできるスポーツ

